

# Magic Sheet の簡易説明

## 1. 大問の設置

- 書式: `\begin{question}~\end{question}`
- 例: `\begin{question}` 大問設置. 個々の問題を記述 `\end{question}`
- 結果:

### Question 1.

大問設置. 個々の問題を記述

- 補足: 大問のラベルを変更したい場合は `\SetupMgshSheets` コマンドを通して変更できます

## 2. 大問の解答の設置

- 書式: `\begin{solution}~\end{solution}`
- 例: `\begin{solution}` 大問解答の設置. `\end{solution}`
- 結果:

### Answer 1.

大問解答の設置.

- 補足: 大問の解答のラベルを変更したい場合は `\SetupMgshSheets` コマンドを通して変更できます

## 3. 穴抜き問題の例:

- 書式: `\mgshBox{ 解答 }{ ラベル名 }{ 解答への捕捉 (表示) }`
  - 解答: 穴抜き問題の解答
  - ラベル名: 設問を識別するための識別子
  - 解答への捕捉 (表示): 欄内に補記したいメッセージ文
- 例: `\mgshBox{answer}{testLabel}{(アルファベットで解答する事)}`
- 結果: [1] (アルファベットで解答する事)answer

## 4. 設問番号の自動付与

- 書式: `\mgshNo{ ラベル名 }`
  - ラベル名: 設問を識別するための識別子
- 例: `\mgshNo{testLabel}`
- 結果: [2]

## 5. 設問番号の参照:

- 書式: `\mgshRef{ ラベル名 }`
  - ラベル名: 設問を識別するための識別子
- 例: `\mgshRef{testLabel}`
- 結果: [2] ※上記の `\mgshNo{testLabel}` を参照している

## 6. 解答欄の生成, 欄のサイズ指定可

- 書式: `\mgshBoxShape{width}{height}{ 解答 }{ ラベル名 }`
- 例: `\mgshBoxShape{100}{20}{ 答え }{testBoxShape}`
- 結果: [3] 答え